

【第4号議案】(資料)

平成27年度事業報告書案

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

一般社団法人 日本包装機械工業会

目次

ページ

3	1. 概況報告
	2. 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業
	1) 調査情報に関する事業
4	2) 機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業
	3) 包装学校の開講に関する事業
5	4) 技術センターに関する事業
7	5) 検査センターに関する事業
8	3. 総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、 支部役員会・支部会、委員会等の開催に関する事業
	1) 定時総会の開催
	2) 理事会の開催
	3) 歳末特別講演会の開催
9	4) 新年賀詞交歓会の開催
	5) 支部役員会・支部会の開催
	6) 委員会の開催
18	4. 生産性向上設備投資促進税制に係る証明書発行に 関する事業
19	5. 包装機械会館の運営に関する事業
	6. 関連産業との交流に関する事業
	7. 福利厚生に関する事業
	8. 会員の現況
20	平成27年度の主な会議・行事

1. 概況報告

わが国包装機械産業の平成26年度の生産実績は4,007億円で、対前年度比1.8%の伸びであった。平成27年度においても、機械統計（経済産業省）の生産高、貿易統計（財務省）の輸出高も堅調に推移しており、また、生産性向上設備投資促進税制の証明書発行枚数も順調に推移していることから、当初計画していた4,114億円は達成できる見通しである。

当会は平成24年4月1日に一般社団法人日本包装機械工業会としてリスタートし、平成27年度はその4年度目であったが、調査情報、機関紙発行、包装学校開講、技術センター、検査センターの公益目的事業をはじめ、総会、理事会、支部役員会・支部会、各種事業委員会、展示会開催、カタログ集発行、包装機械会館運営等々の共益事業、収益事業を積極的に実施し、わが国包装機械産業の経営基盤安定化、技術高度化、グローバル化の推進に努めた。

2. 一般社団法人移行に係る公益目的支出に関する事業

当会は4年前の4月に一般社団法人に移行し、内閣府公益認定等委員会から認定された約2億4千万円の公益目的財産額を調査情報、機関紙発行、包装学校開講、技術センター、検査センターの5つの事業に支出してきた。

平成27年度も前年度に引き続き、上記5つの公益目的事業を実施し、約3,380万円を公益目的のために支出した。その結果、残りの公益目的財産額は約7,220万円となり、平成28年度と同29年度に公益目的事業を実施することで、平成29年度を以って公益目的財産額の支出事業が終了する予定である。

1) 調査情報に関する事業

包装機械・関連機器に関する国内外の技術情報や関連規格等の情報を調査・収集し、広く一般に公開してわが国包装機械産業・関連機器産業の技術高度化ならびに需要業界の包装合理化に資することを目的として、本年度は次の事業を推進した。

(1) 上海包装機械現法懇話会の活動

上海包装機械現法懇話会（会長 小山誠一郎氏 斯托派克包装机械（上海）有限公司総経理）は、中国に進出している会員企業を対象とした各種セミナーを開催し、懇話会会員間の問題解決、情報交換、懇親に努めた。

※第1回セミナー

日 時：平成27年9月15日（火）

会 場：日中経済協会上海事務所会議室

講 師：平原 康久 氏（JR西日本上海代表処 所長）

テーマ：「中国と日本の電車事情」

※第2回セミナー

日 時：平成28年2月3日（水）

会 場：日中経済協会上海事務所会議室

講 師：王 穩 氏（上海開澤法律事務所 パートナー弁護士）

テーマ：「現場の生の事例からみる日系企業の法的リスク」

※第3回セミナー

日 時：平成28年3月17日（水）

会 場：日中経済協会上海事務所会議室

講 師：高見澤 学 氏（日中経済協会 北京事務所副所長）

テーマ：「全人代を終えた中国の今後の政治・虎退治なども含めて」

（2）知的所有権の保護、模倣品対策の活動

経済産業省、特許庁、ジェトロ等の関連機関との連携の下、わが国包装機械産業の知的所有権保護（営業秘密）に関する情報を、会員企業をはじめ広く一般への情報提供に努めた。

（3）包装・荷造機械生産高・輸出入高の調査

わが国の包装機械メーカー約420社に対して、平成26年度の生産高と輸出入高ならびに平成27年度の生産計画に係るアンケート調査を実施した。

調査結果については「包装機械及び荷造機械生産高・輸出入高統計資料」としてまとめ、会員企業をはじめ広く一般に頒布・公開した。

（4）各種資料・情報の収集・公開

国内外の包装機械関連の技術情報、規格および統計資料等の収集を行い、当会機関紙「包装機械新聞」等を通じて会員企業をはじめ広く一般に公開した。

2）機関紙「包装機械新聞」の発行に関する事業

当会機関紙「包装機械新聞」を毎月1回（15日）発行し、わが国の包装機械、関連機器、包装資材等の新製品・新技術情報や当会事業活動、国の施策や機械統計（経済産業省）、貿易統計（財務省）等情報の包装機械業界およびユーザー業界への周知・広報に努めた。

3）包装学校の開講に関する事業

わが国包装機械メーカーの若手技術者、セールスエンジニアならびにユーザー企業の包装担当者を対象とした第42期包装学校を開講した。本年度は、平成27年6月の開講式・オリエンテーションから平成28年3月の修了式まで、包装機械設計・パッケージングエンジニア・マイクロコンピュータ制御技術の各講座を通じて、包装機械業界およびユーザー業界の人材育成・高度化に努めた。

昭和49年度の第1期から本年度の第42期までの修了者は4,376名となり、包装機械業界はもとよりユーザー業界からは、包装機械に関する唯一・高度の人材育成機関として極めて高い評価を得ている。

※第42期包装学校の課程別受講生（計114名）

- 1) 包装機械設計技術専門課程 56名
- 2) パッケージングエンジニア専門課程 54名
- 3) マイクロコンピュータ制御技術専門課程 4名

①Visual Basic 講座 ②C言語講座 ③PLC制御講座

【第1期から第42期までの受講生数、修了者数】

受講者数・修了者数 専門課程名	受講者数（人）		修了者数（人）	
	42期	1～42期計	42期	1～42期計
1. 包装機械設計技術課程	56	2,553	56	2,484
2. パッケージングエンジニア課程	54	1,812	53	1,721
3. マイコン制御技術課程	4	242	4	171
合計	114	4,607	113	4,376

※第90回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成27年6月18日（木）
会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

※第42期包装学校開講式・オリエンテーション

月 日：平成27年6月18日（木）～19日（金）
会 場：天の丸 会議室（愛知県蒲郡市）

※大森会長、梅森担当副会長、正副企画・運営委員長会議

月 日：平成27年11月5日（木）
会 場：包装機械会館 会議室

※第91回包装学校企画・運営委員会

月 日：平成28年2月5日（木）
会 場：包装機械会館 会議室

4) 技術センターに関する事業

技術センターは、EN415規格の調査研究を行うとともに、Food Contact Material、RoHS2 指令、REACH に関する説明会を開催し、包装機械メーカーの安全性・衛生性の向上に努めた。

(1) EN規格に関する調査研究ワーキンググループ（WG）の開催

EN規格はウィーン協定によりISO規格として提案され、ISO規格はWTO/TBT協定により各国の国家規格となる。よって、EN415もISOに提案される可能性がある。

当会では平成25年度から「EN415規格調査研究委員会」（委員長：榎屋治紀氏 システム技術研究所所長）を発足させ、EN規格の安全規格構成（用語の定義、危険源、安全要求事項と方策、検証、使用上の情報）についての調査を開始した。

平成25・26年度は委員会形式で、EN415-3、5、7および全体に関係しているEN415-1、10の調査研究を行った。

今年度は少人数のワーキンググループ（WG）形式で開催し、EN415-6、8および全体に関係しているEN415-1、10記載の用語、定義、箇条の解釈

等についての課題抽出を行い、疑問点・修正案・追加案等を検討結果として報告書にまとめた。

※第1回EN415規格調査研究WG

月 日：平成27年7月3日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

※第2回EN415規格調査研究WG

月 日：平成27年9月10日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

※第3回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成27年11月27日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

※第4回EN415規格調査研究委員会

月 日：平成28年2月5日（金）

会 場：包装機械会館 会議室

- EN415-1 用語と分類
- EN415-2 容器充填包装機
- EN415-3 製袋充填包装機
- EN415-4 パレ、デパレタイザー
- EN415-5 ラッピング機
- EN415-6 パレット包装機
- EN415-7 複合、二次的包装機
- EN415-8 ストラッピング機
- EN415-9 騒音測定方法
- EN415-10 一般的要求事項

(2) 「EN415説明会」の開催

東京と大阪で「EN415説明会」を開催し、包装機械の安全性について、広く一般への周知・啓蒙に努めた。

※東京会場

月 日：平成27年4月8日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※大阪会場

月 日：平成27年4月16日（木）

会 場：大阪商工会議所 会議室

(3) 「EUにおける食品に接触する素材および改正RoHS指令」セミナーの開催

テュフラインランドジャパンの五十嵐和浩氏 亀井啓輔氏を講師として迎え、輸出担当、機械設計、電気設計、安全・品質保証、営業担当を対象とした「EUにおける環境／衛生問題関連法規に関する講習会」セミナーを東京と大阪で開催し、

包装機械の安全・衛生性の周知・啓蒙に努めた。

※東京会場

月 日：平成28年2月25日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

テーマ：Food Contact Material、RoHS2 指令、REACH の解説

※大阪会場

月 日：平成28年3月7日（月）

会 場：大阪商工会議所 会議室

テーマ：Food Contact Material、RoHS2 指令、REACH の解説

（4）包装技術相談と引き合いの斡旋

包装機械ならびに関連機器に関する国内外のユーザー等からの各種技術相談の受付・回答、製品引き合いに対する会員企業等への斡旋事業を推進すると共に会員企業からの技術開発の向上に関する相談の推進と関係資料の配布に努めた。

5）検査センターに関する事業

包装・荷造機械検査センターは、包装機械および関連機器の安全性・衛生性の周知・啓蒙を推進し、労働災害事故の発生を抑えることによってユーザー業界からの信頼性を高め、包装機械産業の発展に貢献することを目的として、本年度は以下の事業を推進した。

（1）安全・衛生検査及び指導事業

「包装・荷造機械の安全基準－2013」、「包装・荷造機械の衛生基準－1999」に基づいて、3社7機種（安全：1 安全・衛生：4 衛生：2）を対象に安全・衛生検査を実施した。2014年4月以降の更新安全検査は2013年版の安全基準に適合することを要求しており、新規検査に準じた内容で実施するとともに、機械危険（残留リスク）情報の書類検査も行った。

また別途1社1機種について、「包装・荷造機械の安全基準－2013」、「包装・荷造機械の衛生基準－1999」に基づいた、安全・衛生指導を行った。

（2）警告マーク・PASSマークの頒布

機械のオペレーターや保守担当者に危険個所を適切に表示・告知する「警告マーク」を広く包装機械・関連機器メーカーに頒布した。

また、当会の安全・衛生基準に合格した製品に表示するPASSマークを頒布した。

（3）EMC測定器のレンタル事業

人体および機械・装置に障害を与える可能性のある電磁波が、機械から発生しているか否かを測定するEMC測定器の貸出を行った。

3. 総会、理事会、歳末特別講演会、新年賀詞交歓会、支部役員会・支部会、委員会等の開催に関する事業

平成27年度事業計画に基づき、総会、理事会、支部役員会・支部会をはじめ各事業委員会等を開催し、本年度事業の円滑かつ適切な推進に努めた。

1) 平成27年度定時総会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、定時総会を開催し、平成26年度事業報告書の審議・承認、平成27年度事業計画の報告を行った。

月 日：平成27年5月27日（水）

会 場：瑠璃光 会議室（石川県加賀市）

2) 理事会の開催

事業計画ならびに定款の規程に基づき、平成27年5月、9月、12月、平成28年3月の計4回理事会を開催し、本年度事業の進捗状況、役員の実務執行状況等の確認・審議・承認を行い、本会事業の円滑な推進に努めた。

※第326回理事会

月 日：平成27年5月27日（水）

会 場：瑠璃光 会議室（石川県加賀市）

※第327回理事会

月 日：平成27年9月11日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第328回理事会

月 日：平成27年12月2日（水）

会 場：リーガロイヤルホテル広島 会議室（広島県広島市）

※第329回理事会

月 日：平成28年3月29日（火）～30日（水）

会 場：天城ホームステッド 会議室（静岡県伊豆市）

3) 平成27年度歳末特別講演会の開催

事業計画に基づき、平成27年12月2日（水）、元プロ野球選手の達川光男氏を講師に迎え、苦しみを笑いに変えた野球人生”のテーマで歳末特別講演会を開催した。

※平成27年度歳末特別講演会

月 日：平成27年12月2日（水）

会 場：リーガロイヤルホテル広島 会議室（広島県広島市）

講 師：達川 光男氏 元プロ野球選手（現：プロ野球解説者）

4) 平成28年新年賀詞交歓会の開催

事業計画に基づき、平成28年1月13日(水)に関係官公庁、当会会員、金融、関係団体の方々をお招きして、当会と株式会社日本包装リース合同主催の平成28年新年賀詞交歓会を開催した。

月 日：平成28年1月13日(水)

会 場：パレスホテル東京 4階「山吹」

式次第：挨拶 大森 利夫(一般社団法人日本包装機械工業会会長)

祝辞 佐脇紀代志氏(経済産業省製造産業局産業機械課長)

乾杯 舩山 行雄(株式会社日本包装リース社長)

出席者：489名

5) 支部役員会・支部会の開催

事業計画に基づき、当会事業の周知と会員間の情報交換・親睦等を目的として、関東支部役員会・支部会、関西支部役員会・支部会、中部支部役員会・支部会を開催し、平成27年度事業報告案ならびに平成28年度事業計画案について報告を行い、併せて、会員企業からの意見・要望を聴取し、平成28年度事業計画への反映に努めた。

※第18回中部支部役員会・第38回中部支部会

月 日：平成28年3月16日(水)

会 場：ホテルキャッスルプラザ 佐久良(愛知県名古屋市)

※第20回関西支部役員会・第55回関西支部会

月 日：平成28年3月17日(木)

会 場：北野クラブ 会議室(兵庫県神戸市)

※第21回関東支部役員会・第37回関東支部会

月 日：平成28年3月18日(金)

会 場：包装機械会館 会議室

6) 委員会の開催

事業計画に基づき、創立50周年記念事業委員会、セミナー企画委員会、青年部会、国際委員会、JAPAN PACK 2015 実行委員会、広報・販売委員会、特許研究会、IT委員会等の委員会を逐次開催し、本年度事業の円滑な推進に努めた。

(1) 創立50周年記念事業委員会

当会は平成29年1月16日に創立50周年を迎えるが、平成26年度に創立50周年記念事業委員会(委員長：古城美武氏 城南自動機株式会社社長)を発足させた。の各種事業を推進するための

同委員会の下に記念式典・記念祝賀会行事担当委員会(副委員長：本多宗隆氏 澁谷工業株式会社常務取締役)と記念誌編纂担当委員会(副委員長：上月清氏 株式会社ケーテー製作所社長)を設置し、平成29年1月16日に向けての事業を推進した。

※第2回創立50周年記念誌編纂事業委員会

月 日：平成27年5月12日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※第3回創立50周年記念誌編纂事業委員会

月 日：平成27年6月23日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※第4回創立50周年記念誌編纂事業委員会

月 日：平成27年7月22日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第1回創立50周年記念式典・記念祝賀会事業委員会

月 日：平成28年1月13日（水）

会 場：パレスホテル東京 会議室

（2）セミナー企画委員会

セミナー企画委員会（委員長：神谷泰仁氏 マキー・エンジニアリング株式会社社長）は、事業承継・相続・M&A・税務・金融、危機管理、貿易実務、技術提携、IT、技術等のテーマ別、また、経営者・幹部、中堅・若手・新入社員等の階層別セミナー開催を立案し、会員企業役職員のスキルアップを図ると共に、当会事業活動の広く一般への啓蒙を図ることを目的として、昨年度に発足した。

同委員会では、「セミナー開催に関するアンケート」の調査結果を分析し、経営戦略、国際ビジネス・貿易実務、総務・人事、包装業界に係る各種規制・制度等、会員企業の関心の高い分野のセミナー開催に努めた、

今年度開催のセミナーは次のとおりである。

※第2回セミナー・ワークショップ

月 日：平成27年5月14日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

テーマ：人材活躍支援セミナー ～女性社員の活躍支援の取り組みについて～

講 師：野崎 浩子氏 大日本印刷株式会社 包装事業部開発本部 開発1部
LLプロセス開発チーム グループリーダー

柴田あゆみ氏 大日本印刷株式会社 包装事業部開発本部 製品開発部エコパッケージ開発チーム

※第3回セミナー企画委員会

月 日：平成27年6月30日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※第3回セミナー（工場見学会）

月 日：平成27年9月15日（火）

会 場：中外製薬株式会社 藤枝工場

※第4回セミナー企画委員会

月 日：平成27年12月16日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

（3）青年部会

わが国包装機械産業の次代を担う経営幹部育成を目的として、青年部会（部会長：花方淳氏 株式会社ハナガタ社長）は総会・セミナー・情報交換会・幹事会開催等を通じて、会員相互の研鑽に努めた。

※平成27年度総会

月 日：平成27年5月19日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※工場見学会・情報交換会

月 日：平成27年6月5日（金）

会 場：日本テクノロジーソリューション株式会社

※夏季セミナー

月 日：平成27年8月27日（木）～28日（金）

会 場：ベルエールの森（群馬県吾妻郡）

講 師：佐藤 功次氏（孺恋村農協 前専務理事）

森田 秀一氏（孺恋村農協 元田代農事組合長）

田村 直行氏（孺恋村農業委員会 委員）

テーマ：農業経営について

※平成28年新年情報交換会

月 日：平成28年1月12日（火）

会 場：玉ひで

※第61回幹事会

月 日：平成28年2月3日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

（4）国際委員会

国際委員会（委員長：下島敏章氏 ストラパック株式会社社長）は、平成26年度に引き続き、本年度も海外包装展示会での会員共同出展事業「日本パビリオン」の実施、国内外における会員企業の製品PR等の事業を実施し、わが国包装機械産業のグローバル化、経営基盤安定化に努めた。

また、わが国包装機械産業の今後の市場開拓のため、ドバイでの展示会に視察団を派遣し、その可能性を探った。

本年度の日本パビリオン共同出展を行った海外包装展示会、JAPAN PACK 第30回展記念講演会、海外展示会視察等は次の通りである。

※ProPak Asia 2015 日本パビリオン【5社・1団体／196m²】

出展社名 大森機械工業株式会社、トキワ工業株式会社、ニッカ電測株式会社、日本ポリスター株式会社、株式会社古川製作所、日本包装機械工業会

会 期 平成27年6月17日(水)～20日(土) 4日間
開 催 地 タイ・バンコク

※ProPak China 2015 日本パビリオン【4社・1団体／72m²】

出展社名 旭化成ケミカルズ株式会社、ストラパック株式会社、ゼネラルパッカー株式会社、ツバキ山久チェーン株式会社、日本包装機械工業会
会 期 平成27年7月15日(水)～17日(金) 3日間
開 催 地 中国・上海

※国内外展示会での会員企業製品PR、ジャパンパックPR

- ①FOOMA 2015 (平成27年6月、東京ビッグサイト)
- ②JAPAN PACK 2015 (平成27年10月、東京ビッグサイト)
- ③ProPak Vietnam 2016 (平成28年3月、ベトナム・ホーチミン)

※第35回国際委員会

月 日：平成27年8月6日(木)
会 場：包装機械会館 会議室

※JAPAN PACK第30回展記念講演会

月 日：平成27年10月13日(火)
会 場：ヒルトン東京お台場 会議室
講 師：William L. Crist 氏 (アメリカ包装機械工業会—PMMI 会長)
テーマ：Economic and Technology trend affecting the Packaging and Processing Industries.
講 師：Riccardo Cavanna 氏 (イタリア包装機械工業会—UCIMA 会長)
テーマ：TCO as a driver of Innovation and decision making support for our customer.

※GULFood Manufacturing 2015 視察団

期 間：平成27年10月26日(月)～29日(木) 4日間
開催地：アラブ首長国連邦：ドバイ
参加者：下島敏章氏(国際委員長)、浪江栄治氏(副国際委員長)、古川雅章氏(常任理事)、児玉勇士氏(株式会社三橋製作所)、金澤信(事務局)、阿部公拓(事務局)

(5) JAPAN PACK 2015 実行委員会

JAPAN PACK 2015 は平成27年10月13日(火)から同16日(金)までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイト(東京国際展示場)の東展示6ホールを使用し、出展社数421社、出展小間数2,284小間の規模で開催された。

実行委員会(委員長：神谷泰仁氏 マキイー・エンジニアリング株式会社社長)は、開会式、記念講演会、オープニングレセプション、特別講演会、医薬品専門技術セミナー等の各種併催行事を実施しての来場動員を行った結果、国内外から約12万人のユーザー動員が実現した。

本年度の開催までの委員会、記者発表会、会期中の開会式、オープニングレセプション、特別講演会、業界専門セミナー、インターナショナルレセプション、Japan Pack Awards 等の行事の概要は次の通りである。

※第1回来場者勧誘・広報WG

月 日：平成27年4月22日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第1回会場設営・運営WG

月 日：平成27年4月22日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第5回実行委員会

月 日：平成27年4月22日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※出展手続説明会（大阪）

月 日：平成27年5月21日（木）

会 場：大阪駅前第3ビル 会議室

※出展手続説明会（東京）

月 日：平成27年5月22日（金）

会 場：八重洲カンファレンスセンター 会議室

※第6回展示会行事検討WG

月 日：平成27年7月7日（火）

場 所：平わ 会議室（京都）

※第6回実行委員会

月 日：平成27年7月22日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第2回会場設営・運営WG

月 日：平成27年7月22日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※第2回来場者勧誘・広報WG

月 日：平成27年7月22日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

※大森会長、川西副会長、正副実行委員長会議

月 日：平成27年9月8日（火）

会 場：八重洲カンファレンスセンター 会議室

※記者発表会

月 日：平成27年9月8日（火）

会 場：八重洲カンファレンスセンター 会議室

※事務局・協力会社会議

月 日：平成27年9月29日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※第7回実行委員会

月 日：平成27年10月12日（月）
会 場：東京ビッグサイト 会議室

※第8回実行委員会

月 日：平成27年10月16日（金）
会 場：東京ビッグサイト 会議室

※正副実行委員長会議

月 日：平成27年11月11日（水）
会 場：包装機械会館 会議室

※第9回実行委員会

月 日：平成27年11月17日（火）～18日（水）
会 場：松園荘保津川亭 会議室（京都府亀岡市）

○開会式

月 日：平成27年10月13日（火）09：45～10：00
会 場：東京国際展示場（東京ビッグサイト）北コンコース
式次第：①吹奏楽演奏（帝京大学吹奏学研究会）

②国歌吹奏、国旗掲揚

③開会宣言

神谷 泰仁 JAPAN PACK 2015 実行委員長

④テープカッティング

佐脇紀代志氏 経済産業省製造産業局産業機械課長

大森 利夫 一般社団法人日本包装機械工業会 会長

川西 勝三 // 副会長

亀田 稔 // 副会長

佐久間 強 // 副会長

梅森 輝信 // 副会長

神谷 泰仁 JAPAN PACK 2015 実行委員長

○オープニングレセプション

月 日：平成27年10月13日（火）18：00～20：00
会 場：ヒルトン東京お台場 ペガサス

式次第：①主催者挨拶

大森 利夫 一般社団法人日本包装機械工業会 会長

②来賓祝辞

佐脇紀代志氏 経済産業省製造産業局産業機械課長

③乾 杯

神谷 泰仁 JAPAN PACK 2015 実行委員長

④懇 親

参加者：480名

○国際ナショナルレセプション

月 日：平成27年10月14日（水） 11：45～13：15

会 場：東京ビッグサイト VIPルーム

式次第：①主催者挨拶

川西 能久 JAPAN PACK 2015 副実行委員長

②JAPAN PACK 2015サポート企業紹介

対象者：海外出展社ならびに海外来場者

○特別講演会

月 日：平成27年10月14日（水） 13：45～15：15

会 場：東京ビッグサイト レセプションホール

講 師：岸 博幸 氏

慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

テーマ：～時代が求める新しい成長産業のカタチ～ 日本を変える

参加者：273名

○Japan Pack Awards 2015 表彰式

月 日：平成27年10月14日（水） 15：45～16：45

会 場：東京ビッグサイト レセプションホール

式次第：①大賞、優秀賞などの発表

②表彰、賞状の授与

梅森 輝信 一般社団法人日本包装機械工業会 副会長

白川 宏 Japan Pack Awards 2015 審査委員長

受賞者：大 賞 大森機械工業株式会社

優秀賞 株式会社イシダ、株式会社システムスクエア、株式会社東京自働機械製作所、ノードソン株式会社、大和製衡株式会社

努力賞11社、独創技術賞5社、省エネ賞4社、デザイン賞3社

※大賞、優秀賞の製品を東5ホール前にパネル展示

○医薬品業界専門セミナー ①

月 日：平成27年10月15日（木） 13：00～14：00

会 場：東京ビッグサイト 出展社プレゼンテーションセミナー会場

講 師：小野田 洋 氏

東和薬品株式会社 包装技術部包装企画課課長補佐

テーマ：ニーズにあわせた医薬品の包装設計

参加者：125名

○医薬品業界専門セミナー ②

月 日：平成27年10月15日（木） 14：15～15：15

会 場：東京ビッグサイト 出展社プレゼンテーションセミナー会場

講 師：近藤 齊 氏

田辺三菱製薬株式会社 営業本部 マーケティング企画部 包装企画グループ グループマネージャー

テーマ：GS1データバーの表示と医薬品包装／活用を想定して

参加者：103名

○医薬品業界専門セミナー ③

月 日：平成27年10月15日（木）15：30～16：30

会 場：東京ビッグサイト 出展社プレゼンテーションセミナー会場

講 師：藤井健太郎 氏

丸三製薬バイオテック株式会社 社長

テーマ：国際化時代の防虫防鼠管理

参加者：88名

○出展社プレゼンテーションセミナー

月 日：平成27年10月13日（火）～16日（金）

会 場：東京ビッグサイト 出展社プレゼンテーションセミナー会場

発表社：計14社

エコスグラフィックス株式会社、株式会社インダ、株式会社システムスクエア、株式会社ジーティービー、大和製衡株式会社、きた産業株式会社、成光産業株式会社、ベッコフオートメーション株式会社、株式会社トパック、株式会社プロスパークリエイティブ、ファナック株式会社、株式会社アルゴシステム、ポップパックLLC、日本CBL株式会社

聴講者：計713名

(6) JAPAN PACK 2017 正副直前実行委員長会議、実行委員会

平成27年12月2日（水）開催の第328回理事会において、JAPAN PACK 2017の会期・会場と正副実行委員長体制を次の通り決定した。

会 期：平成29年10月3日（火）～同6日（金）4日間

会 場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）東展示6ホール

承認された正副直前実行委員長は次の通り。

実行委員長 興水 博氏 株式会社横浜自働機 社長

副実行委員長 結城喜世貴氏 株式会社ユーキ 社長

〃 川西 能久氏 大和製衡株式会社 副社長

〃 安達 拓洋氏 イーデーエム株式会社 社長

直前委員長 神谷 泰仁氏 マキー・エンジニアリング株式会社 社長

理事会の決定を受けて、正副直前実行委員長は平成27年12月14日（月）の第1回会議を皮切りに、平成28年1月、2月と続けて正副直前実行委員長会議を開催すると共に、3月24日にJAPAN PACK 2017 第1回実行委員会を開催し、開催コンセプト、出展社数・小間数・来場者数等の数値目標、実行委員会・WGの編成、開会までの事業スケジュール策定等を討議し、開催準備に努めた。

※第1回実行委員会

月 日：平成28年3月24日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

(7) 広報・販売委員会

広報・販売委員会(委員長:山本治男氏 株式会社東京自働機械製作所社長)は、平成27年10月13日開会のJAPAN PACK 2015開催準備への協力、CD-ROM版日本包装機械便覧(ジャパンパッケージングマシンガイド)の発行、PL保険・包装機械総合保険の加入促進、機関紙「包装機械新聞」の発行、株式会社日本包装リースとの協調によるリース販売の促進などを通じて、会員企業をはじめとするわが国包装機械メーカーの製品広報と販売促進に努めた。

※第29回広報・販売委員会

月 日:平成28年1月28日(木)

会 場:包装機械会館 会議室

※JAPAN PACK 2015 開催準備への協力

広報・販売委員会の活動を通じて、平成27年10月13日から開催されたJAPAN PACK 2015への来場者動員、併催行事参加者動員などの側面的な協力を実施した。

※CD-ROM版「2015日本包装機械便覧(ジャパンパッケージングマシンガイド)の発行

平成27年10月のJAPAN PACK 2015開催に合わせて、CD-ROM版「2015日本包装機械便覧」を発行し、広く国内外においてユーザー業界に頒布し、会員企業製品の国内外への広報と需要喚起に努めた。

マシンガイドの掲載社数と掲載ページ数は次の通りである。

- ・掲載会社数 75社、・掲載ページ数 356ページ

※インターネット製品PRコーナーへの掲載

当会のホームページに日本語・英語・中国語による企業紹介と製品紹介を掲載し、インターネットを通じた会員企業製品の需要喚起に努めた。

同コーナーの掲載社数と掲載ページ数は次の通りである。

- ・日本語/英語 会社数 29社、ページ数 62ページ
- ・日本語/英語/中国語 会社数 10社、ページ数 22ページ

※PL保険・包装機械総合保険への団体加入

ユーザー工場等において機械・機器の運転時または保守の際に、製品の欠陥に起因する物損事故や人身事故に備えるため、本年度も引き続き、会員を対象としたPL保険(国内、海外)および国内総合保険への団体加入を促進して会員企業の経営安定化に努めた。

それぞれの保険の加入社数は次の通りである。【加入合計143社】

- ・国内PL保険 計83社
- ・海外PL保険 計45社
- ・包装機械国内総合保険 計15社

(8) 特許研究会

平成28年1月に海外への流出防止を目的に不正競争防止法の改正に伴い、情報漏洩の罰則が強化され、企業は自社の営業秘密流出ばかりでなく、流入に対しても細心の注意を払わなければならなくなった。そのため、特許研究会（委員長：井上敬一氏（トキワ工業株式会社取締役技術部長）では不正競争防止法の内容について、独立行政法人工業所有権情報・研修館から講習を受け、会員企業に対する啓蒙に努めた。

※第3回特許研究会

月 日：平成28年1月14日（木）

会 場：包装機械会館 会議室

講 師：古田 恵夫 氏

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）

知的財産戦略アドバイザー

テーマ：「会社のヒミツを守るには」

(9) IT委員会

IT委員会（委員長：結城喜世貴氏 株式会社ユーキ社長）は当会ホームページを逐次リニューアルし、当会会員企業、ユーザー業界をはじめ広く一般に対して、当会の各種事業・情報ならびに関係官公庁からの各種情報の速やかな提供に努めた。

併せて、JAPAN PACK 2015 ウェブサイトについては和文、英文、中文の公式サイトを立ち上げ、国内外に向けて同展への出展勧誘に努めた。

※第10回IT委員会

月 日：平成27年6月30日（火）

会 場：包装機械会館 会議室

※第11回IT委員会

月 日：平成27年12月16日（水）

会 場：包装機械会館 会議室

4. 生産性向上設備投資促進税制に係る証明書発行に関する事業

当会は平成26年1月にスタートした生産性向上設備投資促進税制（平成28年3月31日までの約3年間）の証明書発行団体として、平成26年2月から証明書の発行を開始し、本年度の発行数は3,473通（対前年度比577通増）であった。累計の証明書発行数は6,383通で、その内訳は正会員4,391通、賛助会員645通、非会員1,347通となっており、包装機械業界の販売促進ならびにユーザー業界の新規設備投資促進に努めた。

本年度の証明書発行（3,473通）の内訳は次の通りである。

正会員 2,393通（証明書発行手数料は1通に付 2,000円）

賛助会員 370通（ 同上 ）

非会員 710通（証明書発行手数料は1通に付 4,000円）

5. 包装機械会館の運営に関する事業

株式会社日本包装リースならびに株式会社包装システムと協調し、6階部分の賃貸、2階会議室の貸し出しをはじめ包装機械会館の運営、保守保全に努めた。

6. 関連産業との交流等に関する事業

包装機械産業の発展を目的として食品関連産業、製パン・製菓産業、包装関連産業、印刷機械産業、電気・電子機器産業の関連産業との交流・情報交換を推進した。

7. 福利厚生に関する事業

全国印刷製本包装機械厚生年金基金および印刷製本包装機械健康保険組合の事業に積極的に協力し、加入者の福利厚生事業の充実に努めた。

8. 会員の現況

平成27年3月31日現在の会員数は正会員128社、賛助会員99社、合計227社となっている。平成27年度の入会、退会の状況は次の通りである。

1) 入 会

<正会員 1社>

ベストパック株式会社（賛助会員から）

<賛助会員 1社>

三菱電機株式会社

2) 退 会

<賛助会員 7社>

兼房株式会社、司化成工業株式会社、ベストパック株式会社（正会員へ）、ピーアンドジー株式会社、オプティマジヤパン株式会社、ジクス株式会社、マルティニテック株式会社

※平成27年度の主な会議・行事

平成27年（2015年）

月日・曜日	主な会議・行事・事業【会場】
4月 8日（水）	EN415説明会・東京【包装機械会館】
16日（木）	EN415説明会・大阪【大阪商工会議所】
22日（水）	JAPAN PACK 2015 第1回来場者勧誘・広報WG【包装機械会館】
〃	JAPAN PACK 2015 第1回会場設営・運営WG【包装機械会館】
〃	JAPAN PACK 2015 第5回実行委員会【包装機械会館】
5月12日（火）	第2回創立50周年記念誌編纂事業委員会【包装機械会館】
14日（木）	セミナー企画委員会第2回セミナー【包装機械会館】
19日（火）	青年部会平成27年度総会【包装機械会館】
21日（木）	JAPAN PACK 2015 出展手続説明会・大阪【大阪駅前第3ビル】
22日（金）	JAPAN PACK 2015 出展手続説明会・東京【八重洲カンファレンスセンター】
27日（水）	第326回理事会【加賀：瑠璃光】
〃	平成27年度定時総会【加賀：瑠璃光】
28日（木）	第79回日包工懇親ゴルフ大会【加賀：片山津ゴルフ倶楽部】
6月 5日（火）	青年部会工場見学会【大阪：日本テクノロジーソリューション株式会社】
17日（水）	ProPak Asia 2015 日本パビリオン共同出展【タイ：バンコク】
18日（木）	第90回包装学校企画・運営委員会【蒲郡：天の丸】
〃	第42期包装学校開講式・オリエンテーション【蒲郡：天の丸】
19日（金）	第42期包装学校 オリエンテーション【蒲郡：天の丸】
23日（火）	第3回創立50周年記念誌編纂事業委員会【包装機械会館】
30日（火）	第10回IT委員会【包装機械会館】
〃	第3回セミナー企画委員会【包装機械会館】
7月 3日（金）	第1回EN規格調査研究委員会【包装機械会館】
7日（火）	JAPAN PACK 2015 展示会行事検討WG【京都】
15日（水）	ProPak China 2015 日本パビリオン共同出展【中国：上海】
22日（水）	第4回創立50周年記念誌編纂事業委員会【包装機械会館】
〃	JAPAN PACK 2015 第2回会場設営・運営WG【包装機械会館】
〃	JAPAN PACK 2015 第2回来場者勧誘・広報WG【包装機械会館】
〃	JAPAN PACK 2015 第6回実行委員会【包装機械会館】

月日・曜日	主な会議・行事・事業【会場】
8月 6日(木)	第35回国際委員会【包装機械会館】
27日(木)	青年部会夏季セミナー【軽井沢：ベルエールの森】
28日(金)	青年部会懇親ゴルフ大会【軽井沢：軽井沢72ゴルフクラブ】
9月 8日(火)	JAPAN PACK 2015 正副会長、正副実行委員長会議【八重洲カンファレンスセンター】
〃	JAPAN PACK 2015 記者発表会【八重洲カンファレンスセンター】
10日(木)	第2回EN規格調査研究委員会【包装機械会館】
11日(水)	第327回理事会【包装機械会館】
15日(火)	上海包装機械現法懇話会第1回セミナー【上海：日中経済協会】
〃	セミナー企画委員会工場見学会【藤枝：中外製薬株式会社】
29日(火)	JAPAN PACK 2015 協力会社・事務局会議【包装機械会館】
10月12日(月)	JAPAN PACK 2015 第7回実行委員会【東京ビッグサイト】
13日(火)	JAPAN PACK 2015 開会式【東京ビッグサイト】
〃	JAPAN PACK 第30回展記念講演会【ヒルトン東京お台場】
〃	JAPAN PACK 2015 オープニングレセプション【ヒルトン東京お台場】
14日(水)	JAPAN PACK 2015 International Reception【東京ビッグサイト】
〃	JAPAN PACK 2015 特別講演会【東京ビッグサイト】
〃	JAPAN PACK 2015 Japan Pack Award 表彰式【東京ビッグサイト】
15日(木)	JAPAN PACK 2015 医薬品業界専門セミナー【東京ビッグサイト】
16日(金)	JAPAN PACK 2015 第8回実行委員会【東京ビッグサイト】
26日(月)	GULFood Manufacturing 2015 視察団【UAE：ドバイ】
11月 5日(水)	包装学校正副会長・正副企画・運営委員長会議【包装機械会館】
11日(水)	JAPAN PACK 2015 正副実行委員長会議【東京ビッグサイト】
17日(火)	JAPAN PACK 2015 第9回実行委員会【京都】
27日(金)	第3回EN規格調査研究委員会【包装機械会館】
12月 2日(水)	第328回理事会【広島：リーガロイヤルホテル広島】
〃	歳末特別講演会【広島：リーガロイヤルホテル広島】
3日(木)	第80回日包工懇親ゴルフ大会【広島：東広島CC】
16日(水)	第4回セミナー企画委員会【包装機械会館】
〃	第11回IT委員会【包装機械会館】

平成28年（2016年）

月日・曜日	主な会議・行事・事業【会場】
1月12日（火）	青年部会新年情報交換会【人形町玉ひで】
13日（水）	第1回創立50周年記念式典・記念祝賀会事業委員会【パレスホテル東京】
〃	平成28年新年賀詞交歓会【パレスホテル東京】
14日（木）	第3回特許研究会【包装機械会館】
28日（木）	第29回広報・販売委員会【包装機械会館】
2月 3日（水）	上海包装機械現法懇話会第2回セミナー【上海：日中経済協会】
〃	青年部会第61回幹事会【包装機械会館】
5日（木）	第91回包装学校企画・運営委員会【包装機械会館】
〃	第4回EN規格調査研究委員会【包装機械会館】
25日（木）	改正R〇HS指令セミナー・東京【包装機械会館】
3月 7日（月）	改正R〇HS指令セミナー・大阪【大阪商工会議所】
10日（木）	第42期包装学校修了式・東京【機械振興会館】
16日（水）	第18回中部支部役員会・第38回中部支部会【名古屋：キャッスルプラザ】
17日（木）	第42期包装学校修了式・大阪【大阪商工会議所】
〃	第20回関西支部役員会・第55回関西支部会【神戸：北野クラブ】
〃	上海包装機械現法懇話会第3回セミナー【上海：日中経済協会】
18日（金）	第21回関東支部役員会・第37回関東支部会【包装機械会館】
24日（木）	JAPAN PACK 2017 第1回実行委員会【包装機械会館】
29日（火）	第329回理事会【伊東：天城ホームステッド】